

研究方法論Ⅰ 科目担当コーディネーター：坪内俊憲、水内宏

論文を構想するにあたって、あなたの証明したい「課題（命題）」はどのようなことでしょうか。また、その「課題」を「証明」するためには、どのような「論理構成（ロジカルフレームワーク）」でアプローチすべきでしょうか。この答えは「唯一無二」ではないはずです。「研究」や「教育」なる営みは、我々が生きている現実世界で生起しています。したがって、「課題」を「証明」するためには、閉じた世界（書籍、文献）や単一の学問分野、机上のデータに依存するのではなく、多様な現場でのフィールドワークや学問分野を超えた同学、専門家等との対話により、「課題」を発掘し、「証明」方法を企画立案、実践していく必要があります

本講では、学習者の経験、テキスト学修と多分野の教員によるスクーリング、事後学修により、①課題設定、論理構成力、②質的情報・データの取得方法の計画立案力、③取得した質的情報・データの整理分析方法、④論理の構成力、論述力の獲得を目指します。

研究方法論Ⅰ シラバス

科目名	研究方法論Ⅰ	担当教員	坪内俊憲、水内宏
科目属性	基幹科目	単位数	2単位（面接0.5単位）

【授業の目的・ねらい】

教育分野における「課題」とは何でしょうか。その「解決」のためにどうすればいいでしょうか。この答えは「唯一無二」ではないはずです。ただ「教育」なる営みは現実世界で生起しているため、閉じた世界（書籍や一つの研究分野）のみで「解決」できることは極めて少ないです。教育現場でのフィールドワークや同学、専門家等との対話により、「課題」を発掘し、「証明」策を画すべきでしょう。

本講では、学習者の経験、テキスト学修とスクーリング、事後学修により、質的情報・データを用いた研究方法を学習し、以下の到達目標達成を目指します。

この授業の具体的な到達目標は、以下の4点です。

1. 「課題（証明したい命題）」とは何かを思索し、自己の「課題」を設定し、「課題」を「証明」するための論理構造（ロジカルフレームワーク）を構築する。
2. 「課題」を証明できる方法を考察し、質的情報・データ取得方法を企画立案する。
3. 質的研究手法による情報・データの整理・分析方法を修得する。
4. 論文の構成力、論述力を獲得する。

【授業計画】

授業はレポート課題提出、スクーリング、事後学習、科目修得試験（レポート方式）で構成します。

全15回の授業計画については、下記の通りです。ただし、本学は通信制ですので、全てを対面（スクーリング）で行うわけではありません。スクーリングは、論文に関わる調査研究を行う質的研究方法について、多分野の複数教員によって講義、対話、グループワー

クなどの多様な方法で、目標に向かって総合的に実施します。ですので、テキスト、参考文献を読み、スクーリング事前学習、事後学習を行ってください。

- ① 客観的、間主観的、主観的な情報・データについて理解する。
- ② 修論で証明したい課題（問題定義）を設定する。
- ③ 課題を証明する論理構成を策定する（課題を証明する論理構造：ロジカルフレームワークを作成する）
- ④ 論理構成の各階層を証明する情報、データを探求する。
- ⑤ 証明する情報、データを対話、ディスカッションによって十分であるかどうかを検証する。
- ⑥ 証明する情報、データを取得する質的調査計画を立案する。
- ⑦ 証明する情報、データ、立案した質調査計画に関わる文献調査を実施する。
- ⑧ インタビューとその手法によって得られる情報・データの特徴と限界を学習する。
- ⑨ 参与観察とその手法によって得られる情報・データの特徴と限界を学習する。
- ⑩ その他手法によって質的データを取得できる方法を学習する。
- ⑪ 既存文献調査を調査し、証明しようとしている論理構成、その各階層との整合性について批判的思考から評価、考察する。
- ⑫ 質的調査から得られると予測される情報、データのラベル化、カテゴリー化、階層化、チャート化する。
- ⑬ 取得する情報・データから論理構成の各階層の結論を予測し、考察する。
- ⑭ 論理構成の各階層に従って論文の目次を策定、推敲する。
- ⑮ 予測した結論から導き出される提言、展開を考察する。

試験

【評価方法】

評価は、レポート 25%、スクーリング 25%、科目修得試験 50%で行います。科目修得の総合評価の観点は以下です。

- (1) 論理構成（ロジカルフレームワーク）が納得できる構造になっているかどうか
- (2) 論理構成の各階層を証明する情報、データが選定されているかどうか
- (3) 最適な調査手法が選定されているかどうか。
- (4) スクーリングで学修したことを踏まえているか。
- (5) テキスト、参考文献を熟読・熟考している跡がみられるか
- (6) 文献に関わるクリティカルシンキング（批判的思考）ができているか

スクーリング評価は、スクーリング時の積極的な発言と発表内容になります。

【教科書】

- ① 山崎 康司著、(2011)、入門 考える技術・書く技術、ダイヤモンド社、ISBN-10: 4478014582、ISBN-13: 978-4478014585
- ② 戈木クレイグヒル 滋子 (編集)、質的研究法ゼミナール 第2版: グラウンデッド・セオリー・アプローチを学ぶ、医学書院; 第2版 (2013/8/26)、ISBN-10: 4260018671、ISBN-13: 978-4260018678
- ③ 川喜田 二郎 (著)、続・発想法—KJ法の展開と応用、中公新書 210、ISBN-10: 4121002105、ISBN-13: 978-4121002105

【参考図書】

- ウンベルト エーコ (著)、谷口 勇 (翻訳) (1991)、論文作法—調査・研究・執筆の技術と手順— (教養諸学シリーズ)、而立書房、 ISBN-10: 4880591459
ISBN-13: 978-4880591452